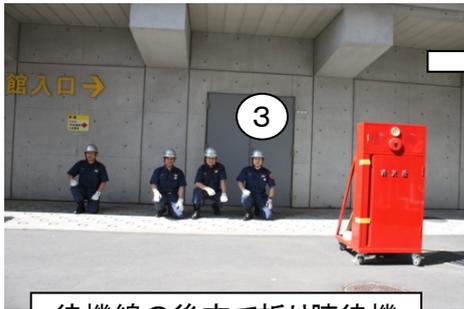


# 屋内消火栓操法実施要領

## 〈 3 番 員 〉



待機線の後方で折り膝待機



指揮者の「待機線へ集まれ」の号令で立ち上がり一度基本の姿勢となる



腰に手を上げ、左足から進み待機線にいたる



「よし」  
右手を腰にあて頭は右を向く1番員の「よし」の合図で一度右手を下げ正面を向き



正面を向いた後、整列休めとなる



左足を肩幅に開く



左足を開くと同時に腰で手を組む



ベルトの上で右手を左手で包む



指揮者の「番号」の号令で

「想定を示す。火点前方標的、屋内消火栓操法。」

「よし」

「操作—始め」

3

指揮者の想定を受ける

指揮者の「操作—始め」の号令で「よし」と呼称し

深い左向けをし消火栓箱の方を向く

腰に手を上げ、①②より先行し、駆け足で消火栓箱に向い停止し扉を開く

扉を完全に開き右体側で扉を押さえ

①②のホースの取り出しに協力しながら、折りたたんである、一番右側のひと折り分をつかみ

他の番員も同時に移行しますのでこの様な配置になります

ひと折り分のホースを両手でつかみ、取り出す

ホースを腰に回し

「よし」

右足を消火栓側に1歩引いた姿勢で火点を向き、①②の延長に際し引っぱられない体勢を取り

①②の延長準備完了を確認して「よし」と合図し、引っぱりを防止し

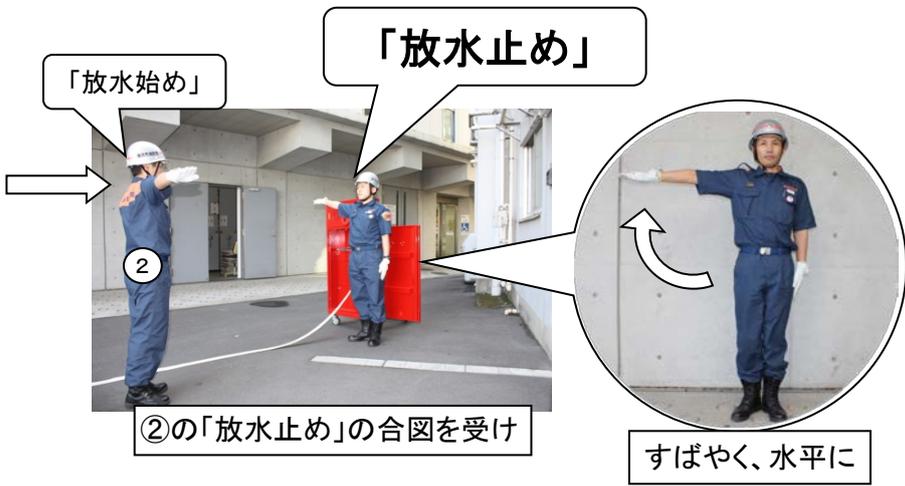
右手で起動ボタンを押し

Point  
②の結合部が落下したら

まず左手を離し

左足を後方に引きながら、ホースをまたぎ





Point  
後から上げ、先に下ろす

②の「放水止め」の合図を受け

すばやく、水平に



一度手を下げ、姿勢を正し



開閉弁を閉める(右回転)



左に向きをかえ、元の位置にもどり、姿勢を正す

「よし」



指揮者の「収め」の号令で「よし」と呼称



右に向きをかえ、正対する



離脱管を両親指で押し下げ、ホースを離脱する



2番員と協力しホースのねじれを取りながら伸張する



メス金具をその場におき



正対して、扉を閉める



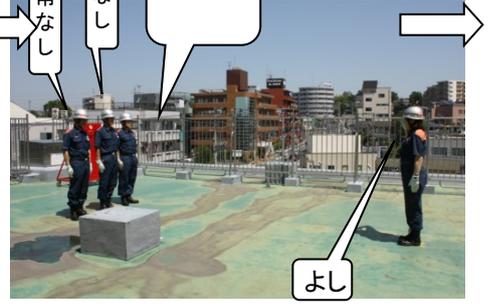
左に向きをかえ、集合線に移行する



「3番員異常なし」

1番員異常なし

2番員異常なし



指揮者の「点検報告」の号令で



Point  
指揮者より先に上げ指揮者が下げた後に下ろす。

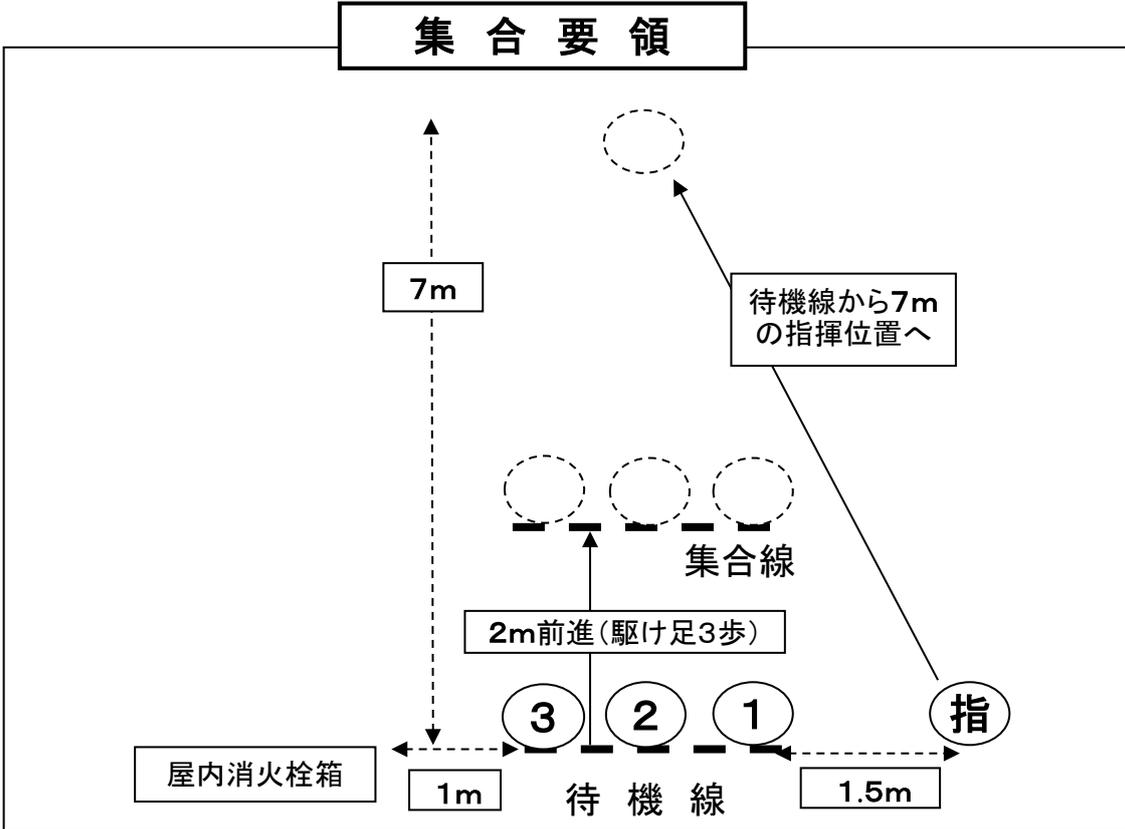


右向け(※足は引きつける)をし



左足から駆け足で退場する

## 集 合 要 領



## 「操作始め」からの操作

